

安全報告書 (2019年)



六甲山観光株式会社
(バス事業)

1. 利用者のみなさまへ

当社バス事業に対し、日頃のご愛顧とご理解を賜り、誠にありがとうございます。

当社は、経営理念の第一に輸送の安全確保を掲げ、法令の遵守とともに経営トップをはじめとする従業員全員が、安全で安心・快適な交通サービスを提供し、お客様にご満足いただけるよう安全輸送に努めております。

本報告書は、運輸安全マネジメント及び道路運送法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに、ご利用のみなさまに広くご理解いただくため、2018年度に実施した安全対策を公表するものです。

みなさまからの声を輸送の安全に役立てたいと思いますので、本報告書に対し積極的なご意見をいただければ幸いです。

六甲山観光（株） 代表取締役社長 宮西 幸治

2. 安全方針と安全目標

(1)安全方針

当社の経営理念の第一は輸送の安全確保です。「安全方針」を次のように掲げ、社長以下従業員全員に周知・徹底しております。

- ① 安全確保の最優先がバス事業者の使命であることを深く認識し、社長及び役員・社員一同、一致協力して事故の防止に努め、安全確保に最善の努力をつくす。
- ② 輸送の安全に関する法令及び関連する規程を遵守するとともに、運行に関する規程をよく理解し、厳正かつ忠実に職務を遂行する。
- ③ 職務遂行にあたり、必要な確認を励行し、憶測による取扱いをしてはならない。また、運行の取扱いに習熟するように努め、その取扱いに疑いのあるときは、最も安全と思われる取扱いを行う。
- ④ 職務遂行にあたっては、関係者との連絡・報告を緊密にして、打ち合わせを正確に行い、お互いに協力する。
- ⑤ 安全管理体制を適切に維持するために、常に問題意識を持ち、輸送の安全に係わる業務上の改善を図る。



(職場での掲示)

(2)安全目標

2018年度 安全目標

「責任事故・重大インシデント「0」の継続」

「安全意識の向上」「指差喚呼の徹底」

3. 事故等の発生状況と行政処分、その再発防止措置

(1)バス運転事故

2018年度におきましては、法律で定めるところの自動車事故報告規則に係るバス運転事故は発生していません。

また、乗合自動車で全国的に最も発生件数の多い車内転倒事故を防止するために、車内マイク放送で発進予告放送を徹底して行うと共に、スムーズな坂道発進の運転を指導し、利用者のみなさまが安全、且つ快適にご利用いただけるよう努めております。

万が一、重大事故が発生した場合は、「非常事態対策規則」により、社長を本部長とする「事故対策本部」を設置し、特に警察・消防・道路関係先との連絡を密にし、事故の対応・処理を迅速・適切に行います。またその際、利用者のみなさまに多大なご迷惑をおかけしないよう心掛けてまいります。

(2)行政処分等

2018年3月7日に「六甲スノーパーク」停留所を経由せずに「カンツリーハウス」まで運行したことと、六甲山上バスの車内に車両ナンバー、運転士の名前を掲示していなかったことにより、2018年7月25日から7月29日まで2車両を5日間使用停止する行政処分を受けたにもかかわらず、2018年12月26日に運行計画の定めるところに従わず一部区間の不通行とダイヤの不届を生じさせてしまいました。本件に対しましては、会社として2019年2月より新たにバス担当課長を配置して、運営体制を強化、法令順守の徹底と指導監督を適切に実施することで再発防止に努めてまいります。

(3)地震や暴風雨、豪雪などによる輸送障害

2018年度は、6月18日に発生しました大阪府北部地震では、17:20 から最終便まで運休しました。

7月5日から7月8日の(4日間)に西日本豪雨のため六甲山上バス、摩耶スカイシャトルバスを終日運休といたしました。

また、7月29日(台風12号)、8月23日・24日(台風20号)、9月4日(台風21号)の接近により、安全を第一に考慮し、一部運休及び終日運休といたしました。

これらの台風により、8月23日に当社の運行路線ではございませんが、表六甲ドライブウェイが各所土砂崩れ発生のため、阪急バスと共同運行しておりました摩耶スカイシャトルバス路線において、阪急バスが営業休止状態になり、以降、当社のみ運行となりました。

(4)車両故障・事故等による輸送障害

車両故障、事故等に起因する輸送障害は発生していません。

(5)インシデント(事故の兆候)

2018年度におきましても、国土交通省への報告事象はございません。

4. 輸送の安全確保のための取組み

(1) 重点安全施策

安全目標を達成するため、当社では重点安全施策として2018年度は、下記のような項目を実施し安全に心掛けました。

① 車両(保有台数 7台)

車両に関しましては、みなさまに対しまして安心してご乗車していただくため、法令に基づき点検整備等を確実に実施いたしました。

タイヤ交換につきましては、冬には積雪・凍結道路を通行するため、毎年12月初旬頃までに、定期的に、スタッドレスタイヤに交換しております。また、降雪時や道路凍結時には、チェーン装着運行を積極的に行い、合わせて融雪剤を撒き、運送の安全に努めております。

② 施設(給油所)

施設(給油所)に関しましては、毎年1回の漏洩点検を実施し、基準を満たした施設であることを確認、神戸市灘消防署へ点検結果報告を行っております。

(2) 人材教育および計画

当社では、みなさまの安全輸送に役立つよう、2年に一度の運行管理者講習会(運行管理者)の受講、及び3年に一度の運転適性診断(運転士全員)ならびに運転保安教育を行っております。

2018年度におきましては、下記の通り運動期間中を中心に、教育訓練を実施いたしました。

- | | |
|------------------------|--------|
| ・ 春の全国交通安全運動 | 4月 |
| ・ 夏の交通事故防止運動(安全運転推進運動) | 7月 |
| ・ 秋の全国交通安全運動 | 9月 |
| ・ 年末年始の輸送等に関する安全総点検 | 12月～1月 |

① ヒヤリ・ハット情報の報告制度を導入し、営業・安全マネジメント会議にてヒヤリ・ハットの情報を取りまとめ、運転士に共有するとともに、対策を立案し、運転士に周知徹底いたしました。

② 車イス乗降訓練・非常口点検・処置訓練を実施いたしました。

③ タイヤチェーン(冬季のみ)脱着訓練を新採用の運転士に実施いたしました。

(3) 運行管理者による点呼

アルコールチェッカーを導入し、運転士の健康状態を出退勤時に確認を実施しています。

(4) 安全のための投資と修繕

安全の維持・向上のため、営業収入の10%を目処に安全関連設備への投資や車両・施設(給油所・バス停)の修繕にあてています。2018年度におきましては、安全関連への設備投資はございません。支出は、修繕費7,979千円(バスの営業収入の約10.4%)となりました。2018年度も引き続き、輸送の安全確保及び輸送サービスの向上のため、設備投資、点検整

備、修理を実施してまいります。

項 目	費用(千円)
■投資	
ノンステップバス(中型)購入等	0
■修繕(保有車両7台)	
【車両関係】	
法定3ヶ月点検及び法定車検整備	4,140
タイヤ交換(スタッドレス・ノーマルタイヤ)	1,249
故障修理	2,495
【施設関係】	
給油所漏えい点検	95
合 計	7,979



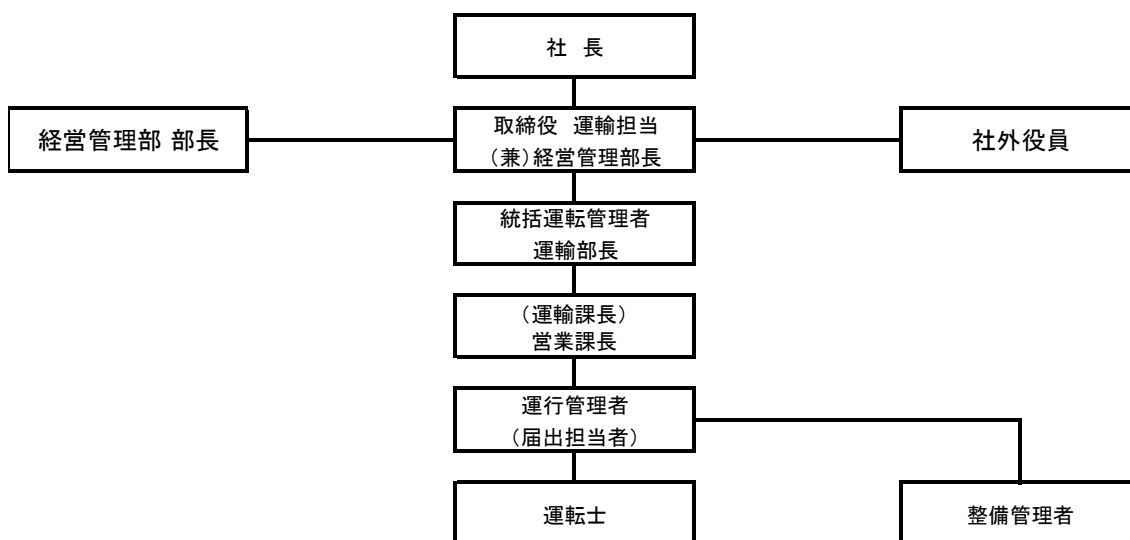
(タイヤチェーン脱着訓練)



(車イス乗車対応:実践)

5. 当社の安全管理体制

社長をトップとする安全管理組織を構築し、各人の責務を明確にしています。



役 職	役 割
社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
取締役 運輸担当 (兼) 経営管理部長	すべての運輸事業及び投資計画、予算計画、要員計画その他必要な計画に関する事項を企画し、統括する。
経営管理部 部長	投資計画、予算計画、要員計画その他必要な計画に関する事項を補佐する。
統括運行管理者 運輸部長	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
(運輸課長) 営業課長	運輸部長の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
運行管理者 (届出担当者)	旅客自動車運送事業運輸規則に基づき、運転士の管理及び運行に関するすべての業務を管理する。
整備管理者	施設・車両に関する整備等の業務を行う。

6. 地元のみなさまとの連携とお願い

「みなさまの声をかたちにしていきます」

より安全で信頼されるバス事業を継続するため、みなさまからお寄せいただいた声を役立てていきたいと思っております。積極的なご意見をいただければ幸いです。

7. 連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見をお寄せください。

連絡先
六甲山観光株式会社 六甲山上バス 神戸市灘区高羽字西山8番地の2 電話 078-891-0222 FAX 078-861-4700 E-mail rc-shita@rc.hanshin.co.jp
■ お問い合わせ時間 9:00~20:00